

2025年度 研究成果（論文・書籍）一覧

I. 原著論文（査読有）

国際政策学部

1. 箕浦一哉:農山村コミュニティの持続可能性：山梨県南巨摩郡身延町における質問紙調査結果の報告, 山梨国際研究 第21号, 57-70, 2026.3
2. Ryota Matsui:Emotion as a Catalyst for Creativity in Decision-Making: Proposing System 3 Thinking as an Extension to Dual-Process Theory, Psychological Studies Vol.70 No.3, 417-429, 2025.9

人間福祉学部

1. 高橋幸裕:専門職による終末期にある認知症高齢者の自己決定を尊重した看取りの実践に関する課題, 山梨県立大学人間福祉学部紀要 21号, 1-16, 2026.3
2. 久保木智洸・齋藤静保:若年層のアディクション関連問題に対するソーシャルワーク（個別援助）－日本語文献を対象としたスコーピングレビュー－, 山梨県立大学人間福祉学部紀要 21号, 19-21, 2026.3
3. 古屋祥子・芝田典子:素材からの触発を起点とした造形活動の可能性—台湾ワークショップ実践例から考える—, 東京藝術大学美術教育研究会「美術教育研究」30号, 10-21, 2025.7
4. 古屋祥子・武末裕子・宮永美知代・吉澤美由紀・山本恵子・白倉明美・芝田典子:盲学校小学部における塑造の授業の展開—動物の構造からの学びと触察を通して—, 美術解剖学雑誌 第25巻1号, 3-16, 2025.5
5. 林康成・興治文子:全体的協働におけるクラウドによる相互参照が考察記述に課題をもつ学習者に与える効果, 臨床教科教育学会誌 第24巻2号, 25-34, 2025.4
6. 橋爪大輝:生命の労働——ハンナ・アーレントの労働論の解釈, 哲学 第76号, 296-311, 2025.4

看護学部

1. Mitsuya Yamakita・Daisuke Ando・Miri Sato・Yuka Akiyama・Kaori Yamaguchi・Zentaro Yamagata : Validity and Wear Compliance of Wrist-Worn Consumer Activity Trackers Among Japanese School-Aged Children Under Free-Living Conditions, Children 13, 184, 2026.1
2. M. Yamakita・T. Tsuji・S. Kanamori・J. Saito・Y. Kai・Y. Tani・T. Fujiwara・N. Kondo・K. Kondo: Association between trajectories of life-course group sports participation and dementia: A 3-year longitudinal study, Public Health Vol.243, 105721, 2025.6
3. Akane KATO・Yuta TANAKA・Yoshiyuki KIZAWA・Hiroaki YAMASE・Asami Tado・Junko

- Tatsuno, Mitsunori MIYASHI: TAScreening and Management of Suffering Symptoms, Needs, and Specialized Palliative Care Utilization in Critical Care: Barriers and Perspectives from a Nationwide Survey of Japanese Critical Care Specialist Nurses, American Journal of Hospice and Palliative Medicine Vol.43 No.5, 460-469, 2025.5
4. Yukako Tani・Takeo Fujiwara・Mitsuya Yamakita・Katsunori Kondo :Childhood sports club experiences mitigate the association between childhood socioeconomic disadvantage and functional disability in older Japanese men, Scientific Reports 15, 14371, 2025.4
 5. 安部孝文・鎌田真光・北湯口純・山北満哉・花里真道・樋野公宏: 小学校におけるスクールバスの徒歩区間設定の実装過程と促進・阻害要因:実装研究のための統合フレームワーク (CFIR) に基づく質的研究, 体育学研究 70, 329-343, 2025.4

地域人材養成センター

1. Keren Mazuz・Ryuji Yamazaki (Yamazaki-Skov):Developing an effective care model to empower caregivers to use a humanoid companion robot: an exploratory qualitative study, Frontiers in Public Health Vol.13, 1-13, 2026.1
2. Yuma Nagata・Yuto Satake・Ryuji Yamazaki (Yamazaki-Skov)・Shuichi Nishio・Maki Suzuki・Hideki Kanemoto・Miyae Yamakawa・David Figueroa・Elie Maalouly・Hiroshi Ishiguro・Manabu Ikeda: A Conversational Robot for Cognitively Impaired Older People Who Live Alone: An Exploratory Feasibility Study, Psychogeriatrics Vol.25 No.5, 1-9, 2025.7

II. 論文 (報告・資料 他_査読有)

国際政策学部

1. 名和敏光:虎溪山漢簡《食方》札記 (二), 第二屆出土文獻與經學古史國際學術研討會論文集 (上), 57-62, 2025.10
2. 名和敏光:虎溪山漢簡《食方》札記 (一), 東北亜考古論壇定陶王墓地 (王陵) 学術交流研究会論文集, 24-31, 2025.10
3. 名和敏光:” 釋 “乃” 字及 “仍” “汙” 字”, 第二屆” 古文字与中華文明” 国際学術論壇論文集, 24-31, 2025.10
4. 名和敏光:汙字考, 第 36 屆中国文字学国際学術研討会論文集, 685- 691, 2025.5
5. 大村梓:『アフターダーク』日本語原文と英訳での語りとパートナーシップ, 第 14 回村上春樹国際シンポジウム予稿集, 332-338, 2025.7
6. 橋本憲幸・村田良太: 脱植民地主義は国際教育開発の倫理か—多元世界論とボリビア, 国際開発研究 34 卷 1 号, 67-82, 2025.6

人間福祉学部

1. 太田研: 重度知的発達症のある生徒の課題従事行動に対するビデオセルフ・モニタリングの学習セットの影響, 日本社会福祉マネジメント学会誌 第6巻, 33-44, 2026.3
2. 青柳暁子: コロナ禍におけるA市民生委員の活動内容の多角的分析 - 危機下における地域福祉の課題と教育的解決策, 人間教育と福祉 第15巻, ページ???, 2026.3
3. 大津雅之: 「福祉専門職化」を「自己覚知」することの意義-「反専門職主義」ムーブメントの後に誕生した資格の保持者として-, 人間教育と福祉 第15巻, ページ???, 2026.3
4. 久保木智洸・大津雅之・橋爪大輝・比志真美・山田勝美・大塚ゆかり: (症例報告) 神経発達症のある大学生の専門職実習における合理的配慮の実践報告, (公益社団法人全国大学保健管理協会) CAMPUS HEALTH 第62巻2号, 159-166, 2025.12
5. 大津雅之: (特集論文) 今日におけるソーシャルワーカーの「自己覚知」に関する発展的考察—ソーシャルワーカーがクライアントとのバウンダリーを「自己覚知」することの必要性— (特集テーマ: ソーシャルワークにおけるクライアントとの援助関係), ソーシャルワーク研究 第11号 第3巻3号, 2025.7

看護学部

1. 宗村弥生・小川純子・水野芳子・栗田直央子・横山奈緒実・村山有利子・笹川みちる・庄司弘子: 先天性心疾患の子どもの看護にかかわる看護師向けのオンデマンド学習の評価, 日本小児看護学会誌 第35巻, 65-73, 2026.3
2. 勝俣晴加・宗村弥生: 幼児期にある重症心身障害児を育てる母親がとらえる子育て, 日本小児看護学会誌 第35巻, 111-118, 2026.3
3. 鄭佳紅・佐藤しのぶ・村上真須美・丹野真理子・上泉和子: 病院における医療・看護の質改善担当者の行動様式—看護職に焦点をあてて—, 日本ヒューマンケア科学会誌 第18巻1号, 45-52, 2025
4. 河野由紀・米田昭子: デュピルマブ注射療法開始後1年以上を経たアトピー性皮膚炎患者が捉える皮膚症状の変化と日常生活への影響, 山梨県立大学看護・健康科学研究ジャーナル 第12巻1号, 1-13, 2025.12
5. M. Yamakita・T. Tsuji・S. Kanamori・J. Saito・Y. Kai・Y. Tani・T. Fujiwara・N. Kondo・K. Kondo: Association between trajectories of life-course group sports participation and dementia: A 3-year longitudinal study, Public Health Vol.243, 10572, 2025.6
6. Mariko SHIRAI・Akane KATO: What does it mean for sadness to heal? A systematic review, American Journal of Hospice and Palliative Medicine, 2025.6
7. 横内理乃・泉宗美恵: A 県の地域密着型病院における外来の在宅療養支援体制強化に向けた取り組みの実態, 日本在宅医療連合学会誌 第6巻2号, 1-8, 2025.5
8. 武岡由香・宗村弥生・平田良江: NICU 看護師が超低出生体重児の母親へ ケア参加を促す際の判断の視点, 日本新生児看護学会誌 第31巻1号, 52-60, 2025.5

地域人材養成センター

1. Keren Mazuz・Ryuji Yamazaki (Yamazaki-Skov):Developing an effective care model to empower caregivers to use a humanoid companion robot: an exploratory qualitative study, *Frontiers in Public Health* Vol.13, 1-13, 2026.1
2. Yuto Satake・Yuma Nagata・Ryuji Yamazaki (Yamazaki-Skov)・Shuichi Nishio・Hiroshi Ishiguro・Manabu Ikeda:Case Report: A five-case series of 18-month home use of a conversational companion robot for psychological support in older people with mild cognitive impairment or late-onset psychosis, *Frontiers in Psychiatry* No.16, 1-8, 2026.1

III. 書籍

国際政策学部

1. 高宮正貴・市川秀之・杉田浩崇（橋本憲幸 分担執筆，70-91 教育のグローバルな正義と運命愛—他者の善き生への関与はいかに根拠づけられるか）：教育と政治を編み直す—規範的教育学の再構築，勁草書房，2026.3
2. 渡部裕巨・片山覚・川村義則編著（石山宏 共同執筆，本人担当分抽出不可能）：検定簿記ワークブック/2級商業簿記〈検定版第12版〉，中央経済社，2026.3
3. 渡部裕巨・片山覚・川村義則編著（石山宏 共同執筆，本人担当分抽出不可能）：検定簿記講義/2級商業簿記〈2026年度版〉，2026.3
4. 高砂あきら・大村梓・星見晶・笈朔太郎（共著 大村梓「清里物語」）：第三回 ハケ岳高原文学賞 受賞作品集，協立コミュニケーションズ，2026.2（ハケ岳高原文学賞 北杜市長賞受賞）
5. 一般社団法人 地域デザイン学会 監修 原田保・板倉宏昭・西田小百合編著（安藤勝洋 分担執筆 第7章ローカルガバナンスによるゾーンと圏の境界融合—シビックプライドを起点としたアクターズネットワークに関する考察—）：地域デザイン学会叢書 12 『都市・郊外・村落の価値発現：コンテクストとしての境界融合と関係編集の展開』，学文社，2025.12
6. 松井亮太：人はなぜ午前中より午後にウソをつくのか（「なんとなく」の心理を科学する 下），旬報社，2025.10
7. 松井亮太：人はなぜ★5より★2のレビューが気になるのか（「なんとなく」の心理を科学する 上），旬報社，2025.9
8. 小野正芳編著（石山宏 分担執筆，第5章「収益認識(2)—収益認識基準・貸倒引当金—」）：ステップアップ簿記—財務会計への誘い—，同文館出版，2025.6
9. 石山宏・木下貴博・浜崎央：公式テキスト Excel 会計スペシャリスト，オデッセイコミュニケーションズ，2025.4

人間福祉学部

1. 公益財団法人児童育成協会 監修／相澤仁・大竹智 編集（山田勝美 分担執筆）：新・基本保育シリーズ 18 社会的養護Ⅱ第 2 版，中央法規，2026.2
2. 六波羅詩朗・村井美紀 編著（山田勝美 分担執筆）：学生のためのソーシャルワーク実習 福祉専門職をめざして，学文社，2025.12
3. 牛田篤 編著（中島朱美 分担執筆，第 5 章 3 節 老人福祉法、介護保険法における理念を理解する）：実践力を育てる高齢者福祉 地域と共に歩むソーシャルワーク，教育情報出版，2025.11
4. 障害福祉サービス実務研究会 編集／代表 柳田正明（大津雅之 分担執筆，1127-1131、1158-1159、1706-1708）：わかりやすい 障害福祉サービスの実務，新日本法規，2025.11
5. 社会福祉法人実務研究会 編集／代表 鈴木豊（柳田正明 分担執筆，生活困窮者支援関連事項）：Q & A 社会福祉法人の法務・会計・税務追録第 72・73 号，新日本法規，2025.11
6. 社会福祉法人実務研究会 編集／代表 鈴木豊（柳田正明 分担執筆，範囲：支援会議の関する 5 項目）：Q & A 社会福祉法人の法務・会計・税務追録第 70・71 号，2025.9
7. 神崎宣次・佐藤静・寺本剛 編集（橋爪大輝 分担執筆，第 12 章 公共），昭和堂，2025.10
8. 二宮皓 監修（池田充裕 共著，範囲：シンガポール），学事出版，2025.4

看護学部

1. 水谷信子・水野敏子・高山成子監修／三重野英子・會田信子・深堀浩樹編集（小山尚美 分担執筆 第 4 章 健康アセスメントに基づく加齢変化と生活支援 身体機能・構造の加齢変化と生活への影響 外皮系、第 5 章 老年期に特有な健康障害と看護 主な健康障害と看護 掻痒症），最新老年看護学第 4 版 2026 年版，日本看護協会出版会，2026.1
2. 土肥伊都子 編著（森慶輔 分担執筆，範囲：8 章 3 節「協力と競争」；9 章 2 節「集団間葛藤」；11 章 4 節「異文化適応，異文化間葛藤」）教育情報出版 2025.12

地域人材養成センター

1. Marco Norskov・Ryuji Yamazaki (Yamazaki-Skov)・Hiroshi Ishiguro（共著範囲 Robophilosophy: Philosophy of, for, and by Social Robotics, Chapter 12, pp.1-32）：Android Philosophy & Android Literacy, MIT Press, 2026.1